

湘南国際村めぐりの森 植樹イベント 報告書

社会福祉法人進和学園
株式会社 研進

1. イベント名称：

「モッチの樹プロジェクト&どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭」

2. 主催：

モッチの樹プロジェクト（注）

社会福祉法人進和学園「いのちの森づくり友の会」

（注）モッチの樹プロジェクト：望月優花氏（アマチュアトップgolfer）とそのお仲間による植樹活動を実践する任意団体。

望月氏が主催する「チャリティー・ゴルフ・コンペ／GOLDIES CHARITY CUP」の収益の一部を進和学園「いのちの森づくり友の会」にご寄附頂き、苗木代金に充当して植樹を行い緑化による環境保全及び障害者の自立就労支援に貢献することを目指す。ゴルフは、森林や自然に対し負荷・犠牲を強いているとの認識の下、本団体を2018年春に創設、初回GOLDIES CHARITY CUPの収益の一部を還元し、進和学園栽培の苗木75本を「高尾小仏植樹祭」（2018年9月23日）に提供した。今回は、第2回目の植樹事案となる。

3. 共催：湘南国際村めぐりの森 混植・密植植樹方式推進グループ

4. 目的：

湘南国際村めぐりの森において、宮脇昭先生（横浜国大名誉教授）が提唱する土地本来の樹種による常緑広葉樹を中心に、混植・密植方式により植樹する。
上記主催団体の目的にも通ずる取り組みである。

5. 開催日時：2019年3月27日（水）10：00～12：00

6. 植樹地：

C地区 2017年5月14日開催の第12回植樹祭において植樹した道路沿いの場所の西側隣接箇所。約60㎡（5.4m×11.1m）⇒次ページ図面参照。

但し、既存の樹木については、伐採せずそのまま活かした。

7. 植樹樹種・本数：

潜在自然植生の広葉樹、第12回植樹祭において植樹した樹種の内、「どんぐりブラザーズ」（進和学園、湘南の凧、横須賀ヘーメット）が栽培し在庫を保有している樹種16種類、合計120本（別紙添付）

*樹高30cm以上の2～3年生（一部に4年生あり）のポット苗を植える。

*植樹地が約60㎡であれば、通常、ポット苗を180本以上植樹可能であるが、既存木（タブノキ他）を活かすため120本とした。

また植栽地のカヤを刈り取りマルチング材として活かした。

8. 参加費及び参加人数：無料、26名参加

(参加団体：モッチの樹プロジェクト、いのちの森づくり友の会、(社)進和学園、(社)湘南の凧、(社)横須賀黎明会、(株)研進)

※開会式において混植・密植方式植樹推進グループ川下グループ長よりご挨拶頂いた。

9. 運営団体：モッチの樹プロジェクト

進和学園「いのちの森づくり友の会」、(株)研進、(社)進和学園

10. 資材提供：同上(苗木、移植ごて、トロ箱、バケツ等)

*地盤造成は、「どんぐりブラザーズ」の日中作業として外部業者は起用せず自ら実施した。資材の代金は、全て「いのちの森づくり友の会」基金(モッチの樹プロジェクトからの苗木101本分の寄附金を含む)より支払う。

(混植・密植方式植樹推進グループの収支には影響しない)

11. 事務局：

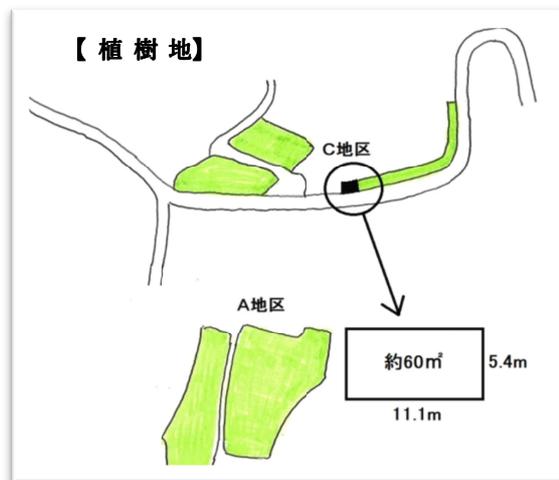
進和学園「いのちの森づくり友の会」

(担当：出縄・加藤)

〒259-1204 神奈川県平塚市上吉沢 1520-1

TEL：0463-58-5267/FAX：0463-58-2675

mail：kenshin-idenawa@shinwa-gakuen.or.jp



モッチの樹プロジェクト & どんぐりブラザーズ ミニ植樹祭 湘南国際村めぐりの森 2019年3月27日



望月優花さん



【開会式】
 ご挨拶と植樹作業の説明
 ・モッチの樹プロジェクト
 ・どんぐりブラザーズ
 ・湘南国際村めぐりの森
 混植・密植グループ



植樹祭の様子